様式第10号(第14条関係)

年　　月　　日

　福井県知事　様

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請者 | 住所 | 郵便番号電話番号 |
| 氏名 | 　 |

特別保護地区内工作物新(改・増)築許可申請書

　県指定　　　　　鳥獣保護区特別保護地区内における建築物その他の工作物の新(改・増)築の許可を受けたいので、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第29条第8項の規定により、下記のとおり申請します。

|  |  |
| --- | --- |
| 行為の種類 | 　 |
| 行為の目的 | 　 |
| 行為の場所 | 　 |
| 行為の場所およびその付近の状況 | 　 |
| 施行方法 | 規模 | 　 |
| 構造 | 　 |
| 工事の方法 | 　 |
| 行為の過程 | 　 |
| 関連行為の概要 | 　 |
| 施行後の周辺の取扱い | 　 |
| 行為の着手予定日 | 　　　　　　　　年　　　月　　　日 |
| 行為の完了予定日 | 　　　　　　　　年　　　月　　　日 |
| 備考 | 　 |

注　1　この申請書には、次に掲げる図面を添付すること。

　　　(1)　行為の場所を明らかにした縮尺5万分の1以上の地形図

　　　(2)　行為の場所およびその付近の状況を明らかにした縮尺5千分の1以上の概況図および天然色写真(近景および遠景の写真ならびに行為の場所との関係を明らかにした撮影位置図)

　　　(3)　行為の方法を明らかにした縮尺千分の1以上の平面図、立面図、断面図等

　　　(4)　行為の実施の方法を明らかにするために必要な図面

　　2　法人にあっては、住所欄には主たる事務所の所在地を、氏名欄には主たる事務所の名称および代表者の氏名をそれぞれ記入すること。

　　3　申請文の「県指定　　　　　鳥獣保護区特別保護地区」の箇所には、当該県指定鳥獣保護区特別保護地区の名称を記入すること。

　　4　行為の種類欄には、「建物の新築」、「建物の増築」、「道路の新設」、「ダムの新設」等、具体的に記入すること。

　　5　行為の目的欄には、当該箇所でその行為をする理由を記入すること。

　　6　行為の場所欄には、市郡、町、大字、小字、地番、地先、国有林にあっては林小班名等を記入すること。

　　7　行為の場所およびその付近の状況欄には、地形、植生、鳥獣の生息状況等周辺の状況を示す上で必要な事項を記入し、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。

　　8　関連行為の概要欄には、「支障木の伐採」、「支障となる動植物の除去」、「敷地造成」、「残土処理」、「工事用仮工作物の設置」等申請行為に伴う行為の内容を具体的に記入し、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。

　　9　施行後の周辺の取扱い欄には、「跡地の整理」、「植栽」等鳥獣の保護のために行う措置を記入し、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。

　　10　備考欄には次に掲げる事項を記入すること。

　　　(1)　他の法令の規定により、当該行為が行政庁の許可、認可その他の処分または届出を必要とするものであるときは、その手続きの進捗状況

　　　(2)　土地の所有関係(申請者が土地所有者と異なる場合は、土地所有者の諾否またはその見込み)

　　　(3)　過去に鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律の許可を受けたものにあっては、その旨ならびに許可処分の日付、番号および付された条件

備考　用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。